



御挨拶



栃木県立のざわ特別支援学校の校長、石井 亮（いしい まこと）と申します。本校校長3年目となります。令和7年度も本校をどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度、のざわ特別支援学校は、満開の桜の中、4月9日の入学式で33名の児童生徒が入学し、小学部1年生から高等部3年生まで122名の児童生徒で新年度を迎えました。

そして、本校の教育目標については、以下の内容で継続してまいります。

○ 教育目標

一人一人の良さを伸ばす教育により、児童生徒の自信を育み、主体的に社会参加できる人間を育成する

私たち教職員は、引き続き、本校の様々な集団を生かした教育活動の中で、一人一人の個性、児童生徒の良さを丁寧に伸ばしてまいります。そして、自信を育み、自分の感じたことや考えたことを表現し、自ら人と関わり合おう、苦手なことや新しいことに挑戦していこうとする心を育ててまいります。

今年度の重点の取組として、「生活力・社会性の向上を目指し、児童生徒の実態を踏まえた学習指導及び生活指導」を設定しました。児童生徒が、身近な生活の中で、様々なことを受け入れたり、挨拶をしたり、自分でできることを増やしていったりすることで、周りから褒められ、認められ、さらに意欲的に主体的に学ぼうとする心が育つと考えるからです。そして、周りに感謝する心を育てることにもつなげてまいります。これらは、児童生徒の進路、将来にもつながると思います。

また、「児童生徒の心身、教育環境の状況を踏まえた危機管理の徹底」、「家庭・地域・関係機関との連携強化と積極的な情報発信」、についても設定しました。本校の教育活動につきましては、今年度も、各家庭と十分な情報共有、連携を図ってまいります。そして、地域、関係機関とのかかわりの中で積み重ねてきた教育を生かし、本校の実態や地域の状況を踏まえ、さらに活動内容や活動範囲を広げる工夫を行いながら、教育の充実を図ってまいります。そのためには、学校の安心安全を第一に考え、前年度の学校評価や反省を生かし、教育活動を進めてまいります。

本校の安心安全な教育活動、その内容の充実には、保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様の御理解、御協力が不可欠です。本校の教育活動の様子を積極的に発信し、皆様としっかりとつなげていただいておりますので、今年度も、本校への御支援、御協力をよろしくお願いいたします。



本校キャラクター
「のべもん」

